



「今の奉仕が

明るい明日を創る」

会 長 森 谷 健 之  
幹 事 岩 崎 忠 弘

立川こぶしRCも創立7周年目に入りますが、初代村上会長の掲げられた「和と輪で」を基本にスタートして以来、歴代会長と会員の素晴らしい協力で会員数80余名の立派なクラブに発展しました。これらの諸先輩が築かれたレールに乗って、更なる内部充実と発展に多少でも寄与できたらと考えております。

本年度国際ロータリー会長クリフ・ダクターマン氏の掲げるテーマは「まことの幸福は人助けから」であります。これは最も大切な他人を思いやる心であると思います。私は、皆でロータリー 皆のロータリー、即ちロータリー活動はロータリアン1人1人が強い意識を持って参加し、そしてロータリーは地域社会皆のためのものであるという信念の上に立って、今の奉仕活動が明るい明日の社会を創る、ことを次年度のテーマにしました。

さてロータリークラブの基本は例会出席にあります。従ってこの例会出席が楽しみになる運営が必要であります。そのためには、各種委員会単独の炉辺ではなくそれぞれのプロジェクトに少しでも関連した委員会が合同炉辺を開き協同作業をする事が望ましいと思います。それによって、各種の委員会活動の活性化を図り、例会の都度各委員会により、その報告や説明をする事を取り入れたいと考えております。そして、その事によりロータリアンとしての意識の高揚が図れる事が出来ますし、又楽しい例会作りに繋がっていくと確信します。

ロータリー活動は地域社会とは切っても切れない関係がありますが、本年度

はロータリー活動を正しく地域社会に認識してもらうためにも広報活動をより効率的に行っていく事を検討しておりますし、それが大変重要であると思ひます。

更に立川ロータリークラブとの競合するプロジェクトについては協同活動をする必要があると考えております。

本年1年間何卒宜しくご理解とご協力をお願い申し上げます。